

富山県ひとり親家庭実態アンケート

新型コロナウイルス感染拡大によるひとり親家庭への影響の実態を把握し、富山県ひとり親家庭等自立促進計画(第4次)の策定及び今後の施策の参考とするため、「富山県ひとり親家庭実態アンケート」を実施しました。

調査概要

【対象】 母子世帯、父子世帯

【期間】 令和2年8月7日(金)～9月7日(月)

【項目】 世帯の状況、仕事や収入・支出への影響、不安に思うこと、
今後期待する支援策など

【方法】 児童扶養手当の現況届の受付時等に市町村窓口で無作為に調査票
を配布し、郵送回収した。

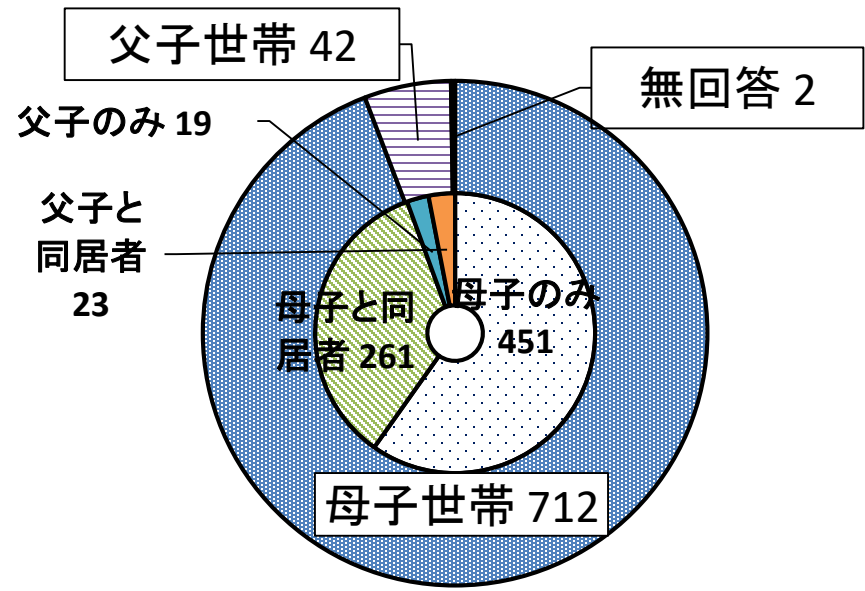
【アンケート配布数】 2,552

【回答数】 756 (回収率:29.6%)

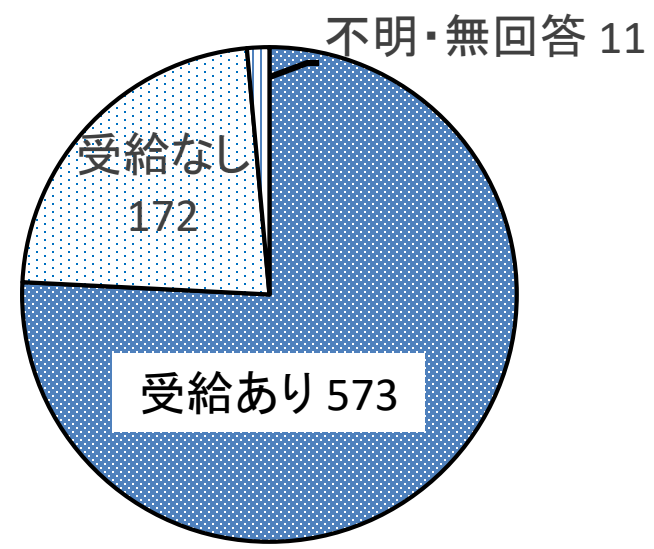


回答者の属性

【世帯】

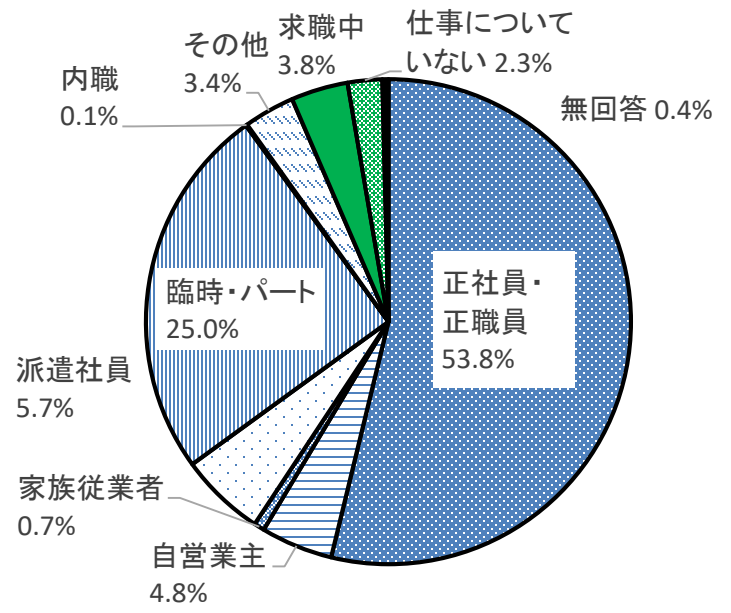


【児童扶養手当受給の有無】



【雇用形態(R2.8調査時点)】

	正社員・正職員	臨時・パート	派遣社員	自営業主	家族従業者
人数	407	189	43	36	5
割合	53.8%	25.0%	5.7%	4.8%	0.7%
	内職	その他	求職中	仕事についていない	無回答
人数	1	26	29	17	3
割合	0.1%	3.4%	3.8%	2.3%	0.4%



結果の概要 ～新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響～

■仕事、収入・支出への影響

- ・就業や収入に変化があった割合は、54.8%で、そのうち、65%が「勤務日数や時間が減った」と答えている。
- ・収入については、「減少した」とした人は、44.7%で、そのうち13.9%がコロナ感染拡大前と比較して、「5割以上収入が減少した」としている。
- ・支出については、約7割が「増加」、そのうち約9割が「食費が増加した」と答えている。

■コロナ禍での不安や悩みごと

- ・「生活費」の不安や悩みが54.5%と最も多く、次いで、「子育て・教育」40.5%、「新型コロナウイルスの感染」40.3%となっている。

■調査時点(R2.8)で、必要としている支援

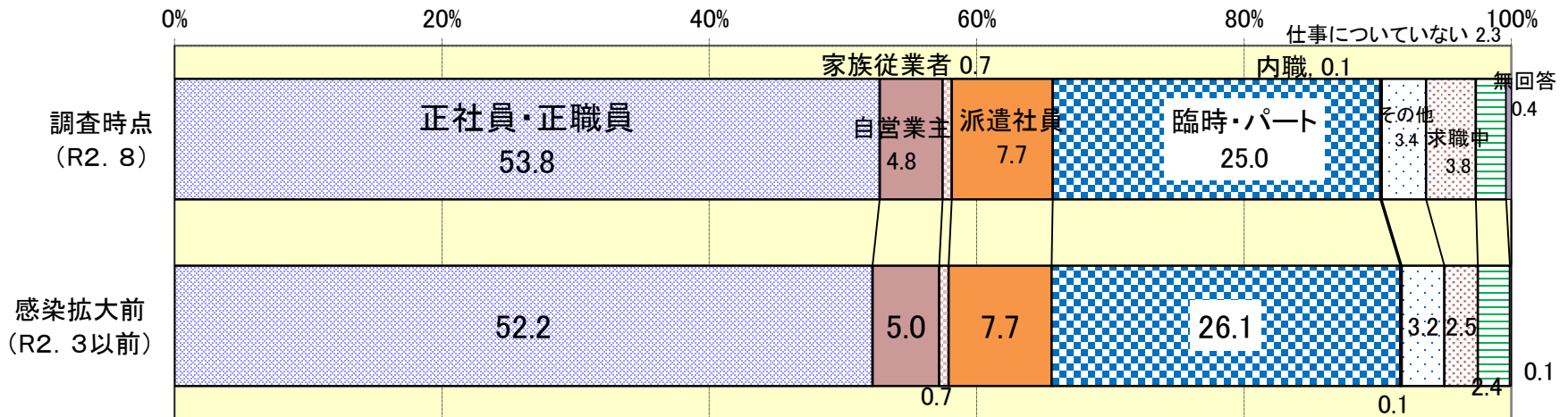
- ・「経済的支援の充実」を求める声が77.1%と最も多く、次いで、「自治体のひとり親支援情報」32.7%、「食料品の無料配布」23.9%となっている。



結果の詳細 ～新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響～

■就業の状況

- ・仕事を持っている人の割合は、感染拡大前(R2. 3以前)では、95. 0%であったが、調査時点(R2. 8)では、93. 5%となっている。
- ・感染拡大前と比較して、就労形態に変化があった人の割合は、約9%となっている。就労形態別では、正社員・正職員がやや増加しているものの、求職者の増加、派遣社員、臨時・パート職員の減少がみられる。

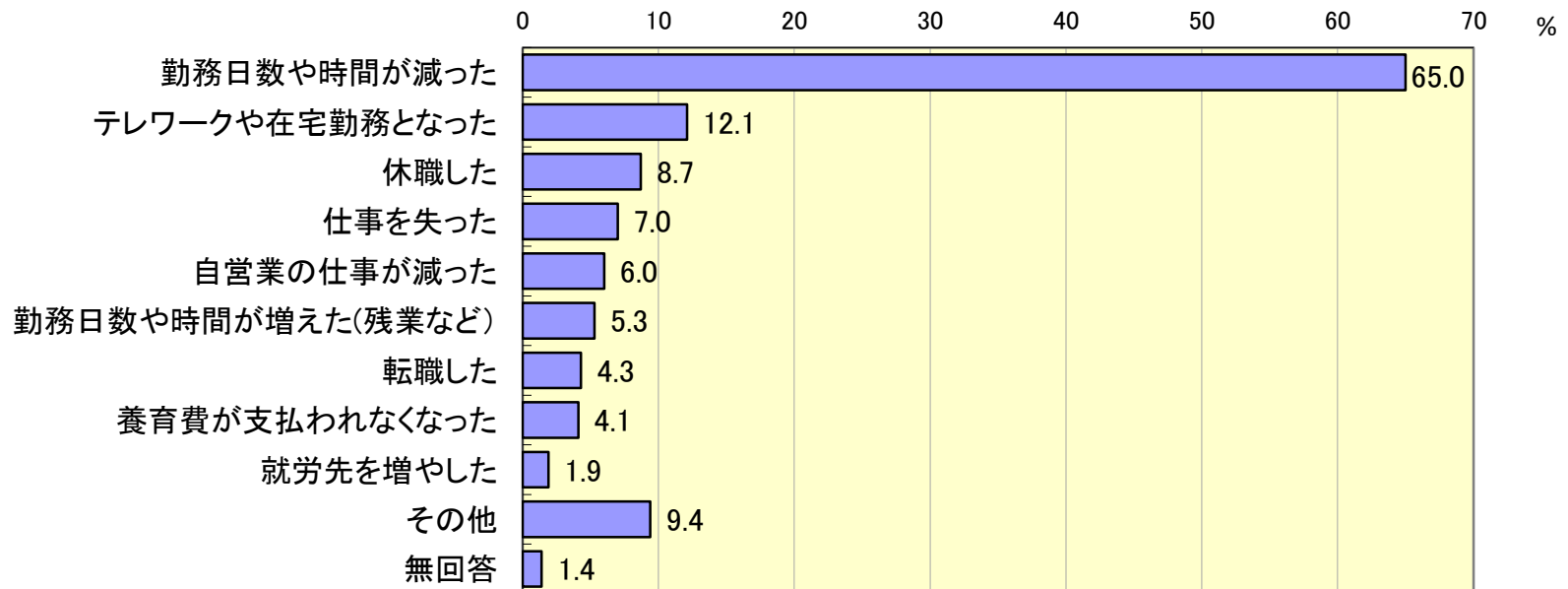


結果の詳細 ～新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響～

■就業や収入の変化の内容（あてはまるものすべて）

・就業や収入に変化があった割合は、54.8%で、そのうち、65%が「勤務日数や時間が減った」と答えている。

・また、変化のあった人のうち約2割が、「転職」、「休職」、「仕事を失った」と答えている。

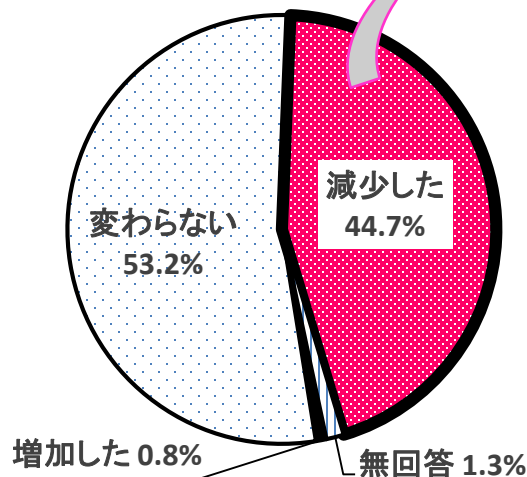


結果の詳細 ～新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響～

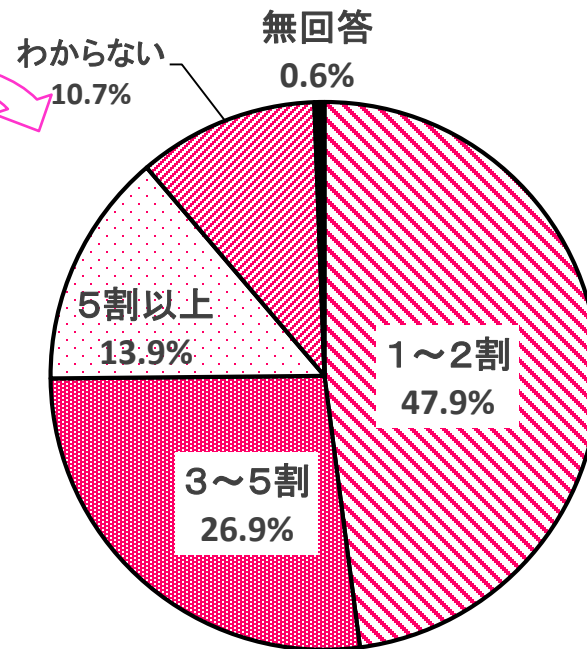
■収入の変化

- ・収入については、「変わらない」が53.2%、次いで、「減少した」が、44.7%となっている。
- ・1か月あたりの収入の減少割合は、半数近くが、「1～2割」であるが、13.9%がコロナ感染拡大前と比較して、「5割以上減少した」と答えている。

【収入の増減】



【収入が減少した割合】

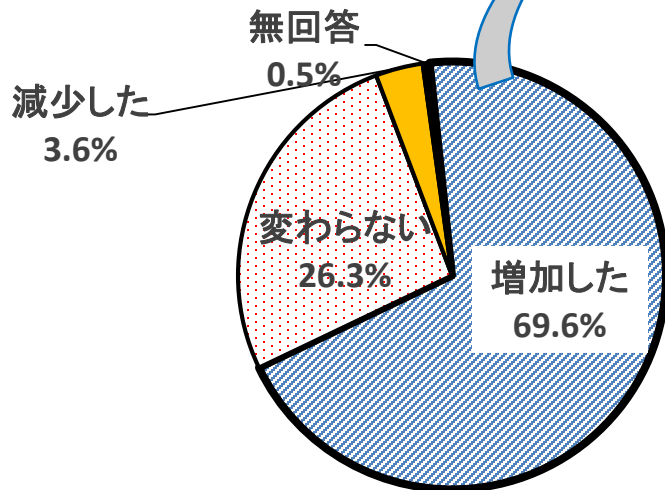


結果の詳細 ～新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響～

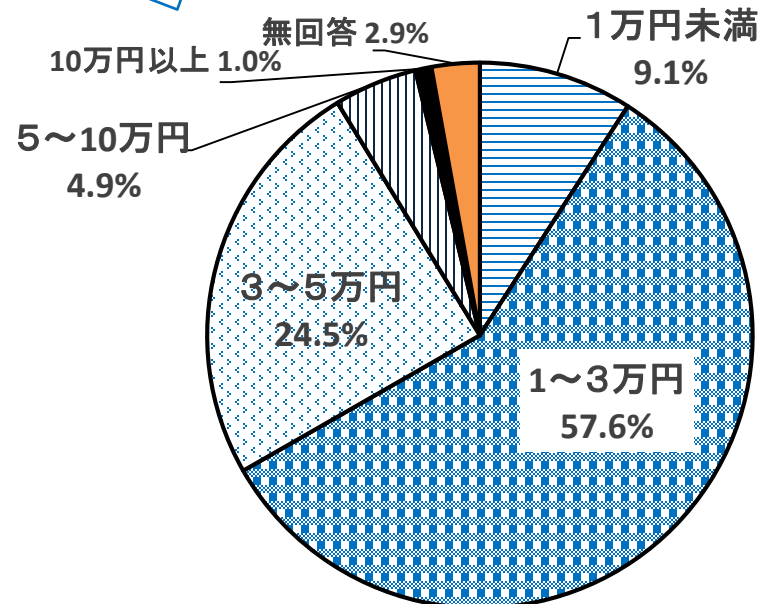
■支出の変化

- ・支出については、「増加した」が約7割、「変わらない」が、3割弱となっている。
- ・1か月あたりの、支出の増加額としては、「1万円未満」が9.1%、「1～3万円未満」が57.6%、「3～5万円未満」が24.5%となっている。

【支出の増減】



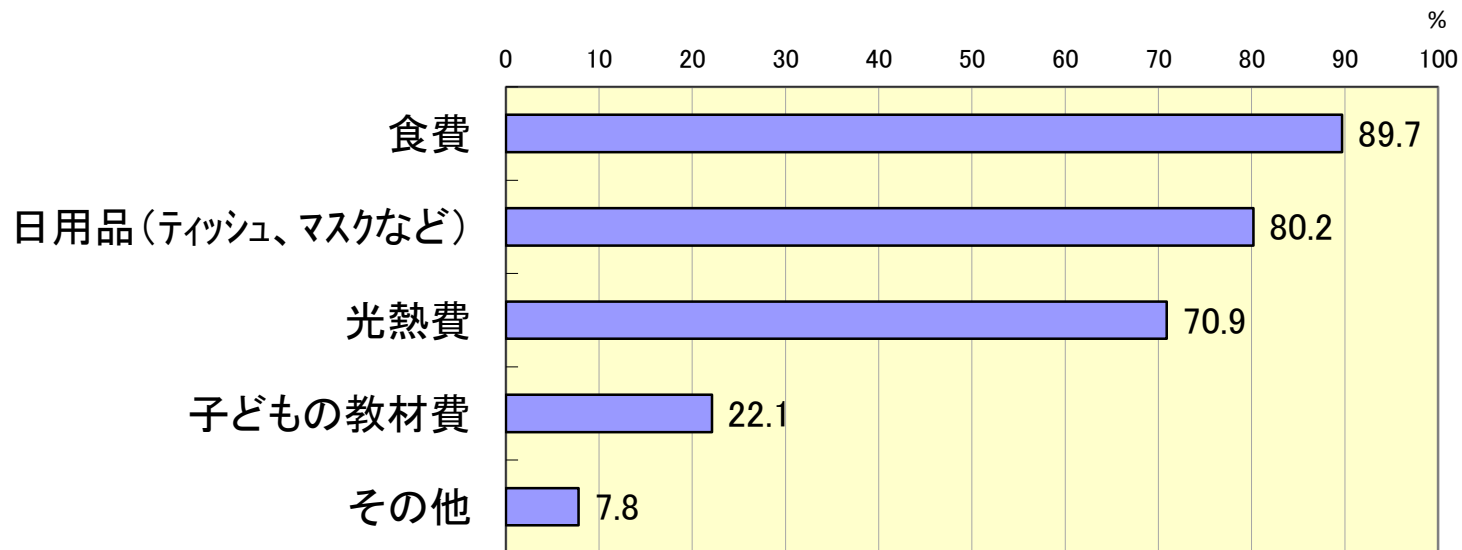
【支出の増加額】



結果の詳細 ～新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響～

■ 支出が増加したと感じるもの(あてはまるものすべて)

支出が増加したと感じるものとしては、「食費」が89.7%と最も多く、次いで「日用品(ティッシュ、マスクなど)」が80.2%となっている。



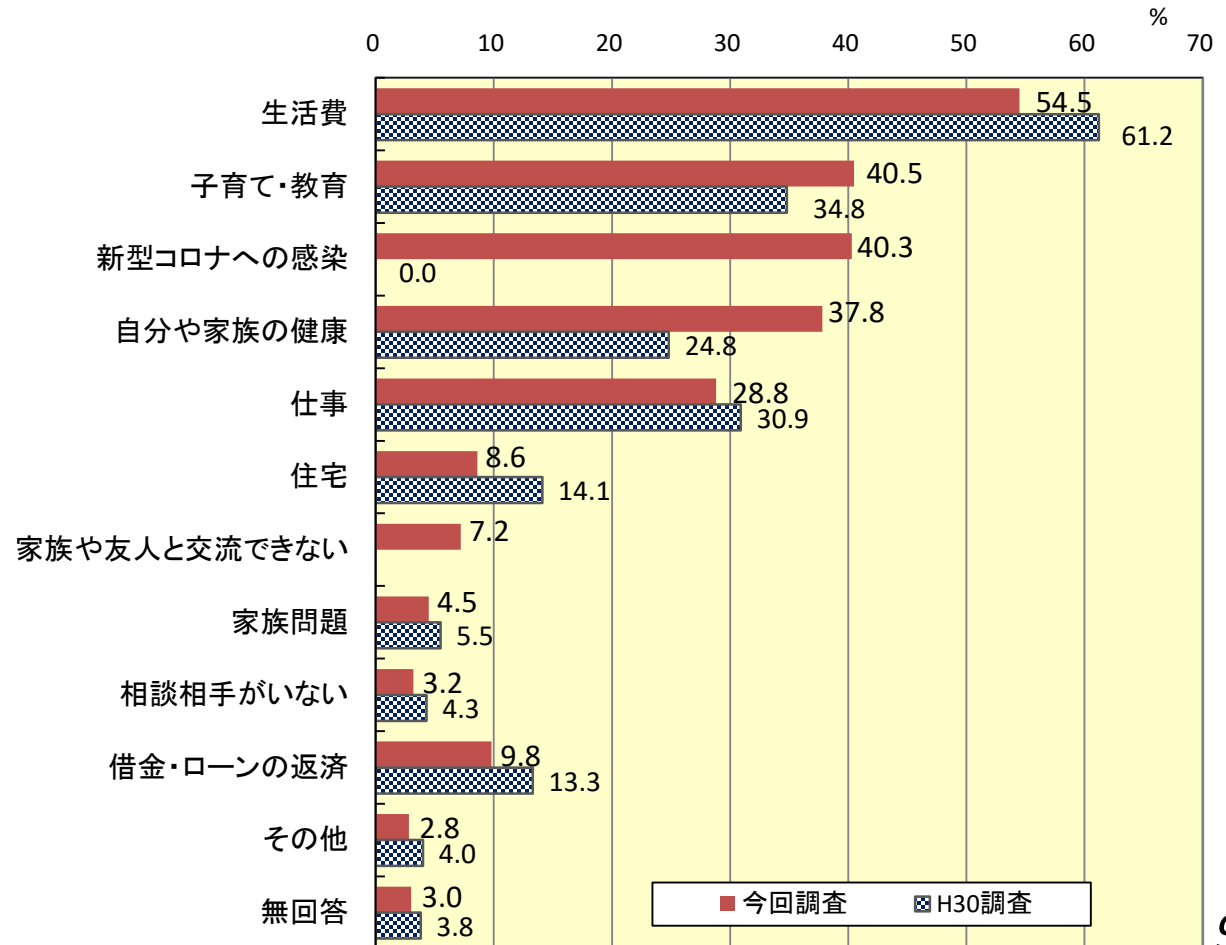
結果の詳細 ～新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響～

■不安や悩んでいること(あてはまるもの3つまで)

・最も大きな不安や悩みは、「生活費」であり、次いで、「子育て・教育」、「新型コロナウイルスの感染」となっている。

・平成30年度の実態調査結果と比較して、

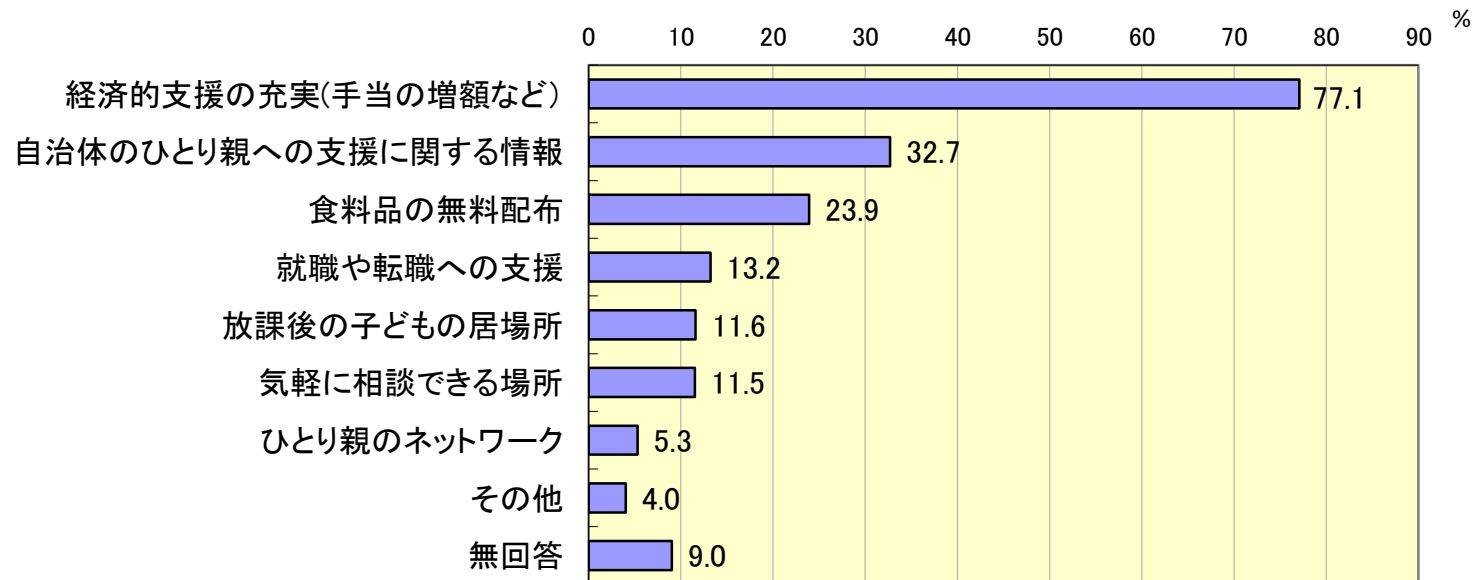
「自分や家族の健康」が13ポイント増加するなど、感染も含めた健康面や子育て・教育に関することを不安に感じる人が多い。



結果の詳細 ～新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響～

■調査時点(R2. 8)において必要としている支援(あてはまるもの3つまで)

・「経済的支援の充実」を求める声が77.1%と最も多く、次いで、「自治体のひとり親支援情報」32.7%、「食料品の無料配布」23.9%となっている。



経済面

- パート先での保証が全くなく、出費ばかりがかさみ生活がとても苦しかった。支援が欲しい。
- フードバンクが毎月あればかなり助かる。身近で実施がないのか情報が入らない。
- NPOの実施する食料品支給が大変助かった。
- 食品の無料配布や子ども食堂などを利用したい。いまだに生活が苦しく、子どもにはそのような思いをしてほしくないの、自分だけが我慢している。
- おこめ券は助かったが、子どもが食べ盛りで食費が家計を圧迫している。
- コロナの影響で失業してしまい、生活費やその他の支払いが後手に回っている。手当や給付を再度してほしい。
- 現金の支給の他に、食料品、日用品、学用品などの支給もしてもらえるとうれしい。
- 給付金やお米券など単発ではなくしばらくの間だけでも継続していただけると少し不安も解消されると思う。
- 自分の収入は変化ないが、高校生の子どものアルバイト収入が減ってしまい、生活に影響を与えている。大学生はその影響を認識されているが、高校生もこのような状態である。また、中学生、小学生以下の子どもだけがお金がかかるわけではない。高校生もお金がかかる。なんとか支援してほしい。

自由記載欄

仕事

- コロナの影響で正社員登用試験が受けられず、雇用が年度末までとなっている。その後どうやって生活していけばよいかわからない。
- このまま仕事が減り続けた場合パートのため先にクビになるかもと不安になる。現在50歳のため、新たなことを覚えるのにもためらいがある。この先どうなっていくのか不安。ある程度年配の者にも就職できる支援があればありがたい。
- 正社員で少数(2~3人)の職場のため、自分は休めなかった。3か月間中学生の子供は1日中1人で、かわいそうだった。
- 業績悪化でいつ雇い止めになるかの不安が常にある。子供達も進学等で一番お金がかかり、精神的にも不安定な年頃で、母子とも毎日不安がなくなる。収入減でなくても悩み、困っている家庭がある。

子どもの居場所

- 子が病気になったときや今回のような感染症が流行したとき、子どもの預け先がなく困った。母子家庭の場合、子の預け先がないと母親が休みをとるしかない。小学校低学年、中学年向けの病児保育などを整備していただきたい。
- 自分の体調が悪いとき子どもをみるのが、子育てをしていて一番つらいと感じる。子どもをショートステイさせてもらえる施設を充実してもらいたい。

コロナ禍での不安・悩み

- 母1人、子1人のため、母のみ感染した場合の子どもの世話、生活が不安。そういった場合のフローを市の方で提示してほしい。
- 自分がコロナに感染した場合子どもだけ家においての入院もできず、自宅療養でうつすのも心配
- 自分がコロナウイルスにかかった時、子ども感染している可能性があるが、自分の親は持病があり子どもの世話を頼むことができない。その場合に何か支援してもらえるような案はないのだろうか。感染しているかもしれない子(もしくは陰性を確定する間の期間)の保育や生活の確保を確立してほしい。
- コロナに感染したら子どもはどうすればいいのか。頼る親もいないので子どものお弁当と朝食のパンなど、毎日家にもってきてほしい。
- 仕事と家事をひとりでやることで体や精神的にもくるので子どもにあたらなくてよいことで怒ってしまったりする。
- 医療従事者のひとり親に対する支援が欲しい。誹謗、中傷等で親が車中泊を余儀なくされてしまった場合、子どもを祖父母に預けるのもためらってしまう。民間でそのような子どもを預けられるところがあればひとり親の医療従事者も働きやすいと思う。

情報発信・ネットワーク

- 正確な情報を確実に、だれもがわかるように伝えてほしい。
- ひとり親ということで、ほかの方々よりも多くの支援を頂いているのは本当にありがたい。しかし、その一方で「ひとり親ばかり」と言う意見も聞く。少しつらい。ニュースなどで、大きく情報を流すのではなく個別に知らせるのも良いと思う。
- 母子家庭は相談する相手がなかなかおらず、情報も入りにくい。いち早く、郵送でも構わないので、支援支給方法の情報提供や母子が相談できる場所があればよいと思った。
- アプリが主流なので、ひとり親家庭においてもアプリがあったらよいと思う。
- ひとり親だけのネットワークをもっと拡散してほしい。
- 子の就学で相談をした際に、「お母さんの収入なら大丈夫、もっと少ないお金でお子さんを進学させた人がいる」と何回も言われたが、家族の状況はそれぞれ違う。そもそもそんな人は何らかの支援を受けている。数字を入れたらどんなサービスが受けられるのかが、分かるようなものをネットにアップしてほしい。ひとりで調べたい。



自由記載欄

その他

- リモートで授業を受けられる環境にしたい。兄弟4人だと日ごとに交代しないと受けることが難しい。常に親がいるわけではないので、接続がうまくいかないと受けられない。
- 子どものオンライン授業が必須であったため、パソコン購入費、ネット接続工事費で、特別臨時給付金(10万円)がなくなった。
- とやま子育て応援団のように、ひとり親家庭においてもそのようなカードの提示で支援を受けられるとよい。
- 児童扶養手当受給者ではないため、コロナ対策の恩恵を受けていない。同じひとり親なのに不平等である。それなのに、世間的には、ひとり親くりでいろいろな恩恵を受けていると思われるので悲しい。
- 通常時はなんとかなるが、こういうときはかなり厳しい。通常時も余裕があるわけではないので、子どもの進学などを見据えて、児童扶養手当の所得制限をもう少し緩くしてほしい。母子家庭だからと子供が自ら進学をあきらめる状況がないようにしてほしい。
- 子どもが県外の大学に進学し、住所を移したため、その子の分の手当がもらえない。大学でも支援金をもらえたりしているが、やはりもらえない分は大きい。アパート代や生活費は親である自分が払っているのに、子どもの住所がないから支援が受けられないのは非常に残念である。
- いろいろな給付金や手当はありがたいが、今の使っている税金を将来、子ども世代が納入することになる。いくらお金が必要と言えども使い道はいろいろなので、
やみくもに支援金ばかり出すのではなく、大事に使ってほしい。

富山県ひとり親家庭実態アンケート ご協力をお願いします

このアンケートは、富山県が実施するもので、富山県内にお住まいのひとり親家庭の中から無作為に選んだ方を対象に、現在の生活や就労の状況、新型コロナウイルス感染症の影響などをお伺いするものです。
アンケートの結果については、「ひとり親家庭等自立促進計画」の改訂や今後の施策に反映させていただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。
※お答えは、無記名であり、調査結果はすべて統計的に処理され、この調査目的以外に使用することはありません。

- 1 回答は、あてはまる答えの番号に○印をつけてください。また、その他など()内も記入してください。
2 記入されましたら、「おりせん」で折り、「のりしろ」で貼り付け、
【9月7日(月)】までに郵便ポストに投函してください。
3 調査についてご不明な点などございましたら、下記までお尋ねください。
◀問合せ▶富山県厚生部子ども支援課 TEL 076-444-3209

母子家庭のお母さん、父子家庭のお父さんが記入してください。

Q1 どちらにお住まいですか。[]内に記入してください

[]市・町・村

Q2 現在、児童扶養手当を受給していますか

1. 受給している 2. 受給していない 3. わからない

Q3 世帯構成について教えてください

1. 母子のみ 2. 父子のみ 3. 母子の他に同居者あり 4. 父子の他に同居者あり

Q4 新型コロナウイルス感染症感染拡大前(令和2年3月以前)の就労形態を教えてください

1. 正社員・正職員 2. 自営業主 3. 家族従業者 4. 派遣社員 5. 臨時・パート 6. 内職
7. その他() 8. 仕事についていない(求職中) 9. 仕事についていない

Q5 現在(令和2年8月)の就労形態を教えてください。

1. 正社員・正職員 2. 自営業主 3. 家族従業者 4. 派遣社員 5. 臨時・パート 6. 内職
7. その他() 8. 仕事についていない(求職中) 9. 仕事についていない

Q6 新型コロナウイルス感染症の影響で就業や収入に変化はありましたか。

1. はい 2. いいえ

Q7 前問(Q6)で「はい」とした場合、どのような変化がありましたか(あてはまるものすべてに○)

1. 勤務日数や時間が減った 2. 勤務日数や時間が増えた(残業など)
3. 転職した 4. 退職した 5. 仕事を失った 6. 就労先を増やした
7. テレワークや在宅勤務となった 8. 自営業の仕事が減った
9. 養育費が支払われなくなった 10. その他()

Q8 新型コロナウイルス感染症の影響で収入に増減はありましたか

1. 増加した 2. 変わらない 3. 減った

Q9 前問(Q8)で「減った」とした場合、以前より1か月あたりどの程度減りましたか

1. 1~2割程度 2. 3~5割程度 3. 5割以上 4. わからない

お
り
せ
ん

Q10 新型コロナウイルス感染症の影響で支出に増減はありましたか

1. 増加した 2. 変わらない 3. 減った

Q11 前問(Q10)で「増えた」とした場合、増えたと感じるものは何ですか(あてはまるものすべてに○)

1. 食費 2. 光熱費 3. 子どもの教材費 4. 日用品費(ティッシュ、マスクなど)
5. その他()

Q12 前々問(Q10)で「増えた」とした場合、以前より1か月あたりどれくらい増加しましたか

1. 1万円未満 2. 1万~3万円未満 3. 3万~5万円未満
4. 5万~10万円未満 5. 10万円以上

Q13 現在不安に思うことや悩んでいることについてあてはまるものは何ですか(3つまで○)

1. 生活費 2. 子育て・教育 3. 仕事 4. 自分や家族の健康 5. 住宅
6. 借金・ローンの返済 7. 家族問題 8. 家族や友人と交流できない
9. 相談相手がいない 10. 新型コロナウイルスの感染
11. その他()

Q14 現在、主に必要としている支援はどのようなことですか(3つまで○)

1. 経済的支援の充実(手当の増額など) 2. 自治体のひとり親への支援に関する情報
3. 気軽に相談できる場所 4. ひとり親のネットワーク 5. 就職や転職への支援
6. 食料品の無料配布 7. 放課後の子どもの居場所
8. その他()

Q15 その他、新型コロナウイルス感染症による影響、今後期待する支援等があればご記入ください

た
に
お
り

お
り
せ
ん

ご協力ありがとうございました。